

第二回拜宮農村舞台公演「恵比寿と三番叟」

佐藤憲治

昨年、大雨に見舞われた拜宮公演ですが、今年は、ひと雨来てくれてもいいのにと、思うほどの好天に恵まれ、昨年を上回る約八百名の方が訪れてくれました。

国道から舞台まで約二キロの道が狭く、昨年の復活公演では、森林組合の貯木場を臨時駐車場としてシャトルバスを運行しました。今年は、舞台の周辺に駐車場を確保し、役場のみなさんと地元の方たちが、道案内や駐車場整理にしてくれたおかげで、アクセスが便利になりました。

また、人形だけでなくオカリナの演奏やモダンダンスを交え、若い人にも楽しんでいただける質の高い公演内容が実現しました。

地元の保存会と出演者の方をはじめ、那賀町役場、那賀警察署、助成いただいた各団体、新聞社等のメディア各社、その他関係各位の力が結集した結果であると思います。もちろん阿波農村舞台の会も支援させていただきました。

今回の公演を通じて、みんなが力を合わせてつくりあげる農村舞台の楽しさというものを改めて実感しました。

IWATO三番叟

青年座のみなさんには、昨年、寿二人三番叟を上演いただきましたが、今年、松小舎の舞踊とアミンダの演奏を加えバリエーションアップしたIWATO三番叟を上演していただきました。オカリナの神秘的な音色をバックに、木の精のように

舞い降りた松小舎の吉田さんのダンス、鈴が手渡され緊張感がとぎれることなく青年座の三番叟へと流れていきました。



えびす舞

拜宮と木沢の恵比寿がひとつの舞台に並んだのは、感慨深いものがありました。合併した二つの町村の人たちが力を合わせてひとつの舞台をやり遂げたこと、天狗久がつくった二つの恵比寿が、何十年もの歳月を経て舞台上で対面したこと、文化活動を通じて二つの地域の交流が図られたことなど、大きな意味のある舞台であったと思います。

実録建治山御法之花貞阿上人流行場之段 昨年度、県文化振興財団が復元した、



め、農村舞台公演に花を添える形で文楽の豊竹英大夫さんと鶴澤清友師匠、寄井座のみなさんを派遣してくださいました。英大夫さんにはお忙しい中、事前に下見にも来ていただきました。また、清友師匠は演奏中ハチに刺されるアクシデントがあり、ご迷惑をおかけいたしました。



徳島（徳島市入田町の建治寺）を舞台にした人形浄瑠璃です。今回は、県文化振興財団が、新たな外題の普及に努めるた



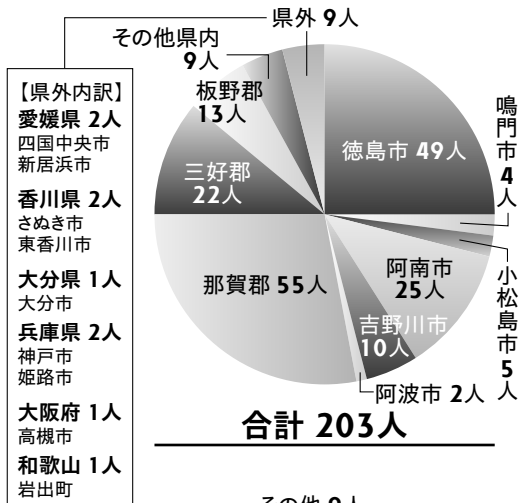
KOTOHOGI SANBASOU 本場に緊張感あふれる舞台でした。本殿に続く階段からの登場、ゆつたりとした日本舞踊の動きや面の不思議な力と現代舞踊のダイナミックな動き、こだわりの首づくりなど。梶原さんの滞空時間の長さ、鍛えられた筋肉の動きに魅入られた人も大勢いたようです。また、舞台裏のけやきやもみじの新緑の重なりを借景として使うことで、舞台そのものの魅力も引き出してくれました。

拜宮公演アンケート結果

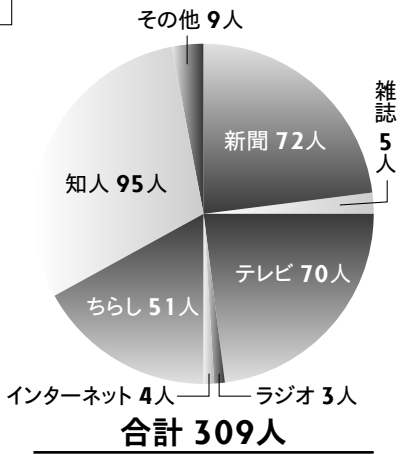
プログラムといっしょに五百枚のアンケート用紙を配布した。

①どこから来たか、②公演の開催を何で知ったか、③意見・感想、の3項目の簡単なものであったが、二百三枚の回答をいただいた。来場者は那賀町だけでなく、徳島市や阿南市、県西部からも多数あり、県外からも九名が参加した。また、新聞やテレビ以上に知人からの口コミが多かったこと、ちらしも以外に効果的であることがわかった。意見・感想は、自由記述式であったが、約百三十人が、舞台やロケーション、地域の取り組み状況や公演内容などを高く評価する書き込みをしてくれ、紙面ですべて紹介できないのが残念である。

①どこから来ましたか？



②公演の開催を何で知りましたか？



③主な意見・感想

●数ある農村舞台の中でも拜宮の舞台は白人神社の神域と山、谷、千年杉、紅葉など自然環境がとても素晴らしい超一級のもので、舞台背景に天然の紅葉が現れたのが実にすばらしく驚嘆しました。

●昨年、大雨に見舞われた拜宮公演ですが、今年は、ひと雨来てくれてもいいのにと、思うほどの好天に恵まれ、昨年を上回る約八百名の方が訪れてくれました。国道から舞台まで約二キロの道が狭く、昨年の復活公演では、森林組合の貯木場を臨時駐車場としてシャトルバスを運行しました。今年は、舞台の周辺に駐車場を確保し、役場のみなさんと地元の方たちが、道案内や駐車場整理にしてくれたおかげで、アクセスが便利になりました。

●今年、祝祭的な雰囲気を感じました。また、清友師匠は演奏中ハチに刺されるアクシデントがあり、ご迷惑をおかけいたしました。

●この山奥にこんな立派な舞台が保存されていたことに驚きました。受け継いでこられた地元の皆様にご敬意を表します。